

第4回秋田市マイタウン・バス北部線運行協議会議事録

開催の日時 平成21年2月24日(火)午後2時から午後4時まで

開催の場所 北部公民館

委員の定数 17名

出席委員 10名

議 題 (1) 秋田市マイタウン・バス北部線の運行状況について(報告)
(2) 秋田市マイタウン・バス北部線の土崎地区延伸について

事 務 局 開会の言葉

会 長 挨拶

議事に入る、(1)秋田市マイタウン・バス北部線の運行状況について(報告)については資料の提供となるので、委員各自で、後ほど目を通していただくことにして、(2)秋田市マイタウン・バス北部線の土崎地区延伸について)」について説明をお願いしたい。

事 務 局 「(2)秋田市マイタウン・バス北部線の土崎地区延伸について)」について説明

委 員 私自身は、マイタウン・バス北部線下新城コースを利用することがあるが、目的地の途中となる飯島二区で乗り換えるのは苦痛である。
土崎地区まで延伸することによって、運行本数が減り、現行区間においても料金が上がる可能性があることは理解した。
乗り換えが解消されるのなら、値上げもやむを得ない。
金足・下新城コースの組合病院直行便は整理するのではなく、土崎地区行きと共存してもいいのではないのか。

会 長 金足、下新城の両コースは、現在組合病院まで直行で行っている便はそのまま組合病院行きとし、飯島二区までの便を土崎地区まで延長したらどうか。

委 員 土崎地区までの路線延長が実現できるのはありがたい。
その結果の減便はやむを得ない。
小学生の登下校に利用している時刻だけは減便しないで確保してほしい。
路線延長の結果、土崎地区、組合病院、飯島二区と起点が3つになってもいいのではないのか。
それより、予約締め切り時刻が繰り上がるを何とかしてほしい。

会 長 土崎地区延伸の結果、予約締め切り時刻が繰り上がるのはなぜか。

事 務 局 現在、乗務員が朝6時に出庫した後から入る直前予約は、予約センターから乗務員に無線で、氏名、乗車場所、目的地などの必要な情報を運転していない停車時間を見計らって連絡し、乗務員はそれをメモを取るなど錯誤がないように対応している。
出発の数分前までなら待機しているので、無線を受けとることが可能だが、締切1時間前の時点では乗務員は1運行前の時刻の便を出発しようとしているため、無線を受けることができない。
つまり、土崎地区延伸によって、1運行前の便は1時間30分程度前から運転することになるので、必然的に締切時刻が30分程度早まることになる訳である。

会 長 現在、上新城コース下りの組合病院で実施している、余席がある場合は予約なしで乗車を認めるとしている現行方式を拡大することはできないのか。

委 員 それは社独自の判断で弾力的に実施しているのであり、基本的には予約受付は1時間前に締め切る方法に変更はない。

委 員 土崎地区延伸の早期実現の可能性はあるのか。

事 務 局 この件は今回初めて出されたのではなく、前々から要望が出ている件である。
そのため、延伸をした場合のメリットやデメリットを説明する必要があったため、今回開催したものである。

また、利用者動向をつかんで、協議会としての方向性を確認したかったため、協議いただいたものである。
その意向に添って、今後市として対応していきたい。
この会で路線延長することを意志決定すれば、運行事業者と路線調整に関する協議をすることとなり、協議の経過次第によっては計画に変更が生じるため、いつから延長運行できるかは現時点では約束できない。

委員 その場合には、新規に国土交通省に認可が必要となるのか。

事務局 路線延長部分について、認可が必要となる。
また、認可にかかる期間は約2カ月である。

委員 利用者などいろいろな市民の方々から土崎地区延伸の要望を聞いていた。
この協議会で土崎地区延伸の方向性が出されれば、バス事業者と路線延長に関して協議することとしたい。

会長 私が委員として出席している秋田市地域公共交通協議会の席上で、マイタウン・バス北部線の土崎地区延伸の話をしたことがあったが、バス事業者の委員からは、自分の立場としては、土崎まで路線延伸を認めることは死活問題であるので承認できないとの発言があった。
北部地域郊外部から路線バスが撤退した結果、地域の中心である土崎地区まで行く場合に、乗り換えなどの面で不便になったのだから、バス事業者としてもある程度話を聞いてくれてもいいのではと思った記憶がある。

委員 土崎地区延伸を強く希望する。
会長は、次の公共交通協議会ではその旨の発言をしてきてほしい。

委員 マイタウン・バス北部線の戸口から戸口までのサービスはありがたいが、ほとんどの利用者は停留所で乗降しており過剰サービスかもしれない。
乗降場所を停留所のみ利用とすることにより、運行本数の減は避けられるのではないのか。

事務局 それは、ほとんど影響はない。

会長 バス事業者と協議するにあたり、飯島二区または組合病院から土崎地区までの延長部分について、全停留所を設置できないことも考えられる。
各コース2箇所程度の設置と想定して、利用したい停留所をあげてほしい。

委員 本来停留所というものは、必要があって設置しているものであるもので、現在バス事業者が設置している全部を使用させてほしいところである。

会長 全停留所利用可能となればいいが、うまくはいかないことも想定し、具体的に目的停留所と各コースの中途の停留所1箇所程度あげてほしい。

委員 目的停留所は土崎駅、中途停留所は上新城コースはサンパーク入口と長野下丁、金足・下新城コースは飯田街道でいいのではないのか。

委員一同 異議なし

会長 了解した
それでは、会の決議として土崎駅までの延伸を要望することとしてよろしいか。

委員一同 異議なし

会長 土崎駅延伸の関連事務を進めるにあたって、事務局にお願いしたい。
土崎駅延伸にあたり、極力減便はしないでほしい。
また、料金はできるだけ現行より高くしないでほしい。

事務局 検討する

会長 その他の件で、何かあるか。

委員 利用者の中には予約なしで乗車し、降車停留所名などを話さない方もいるため、乗務員と乗客間の意思疎通が図れないケースがある、今後は運行事業者としてマニュアルを作成するなど、接客対応に力を入れていきたい。

- また、運行開始から約1年弱の間を運行してきて、今まで事故がなくてよかったと感じている。
- 事務局 事務局から提案したい。
1点目は、乗換停留所から接続便を運行するバス事業者がこの4月には大幅なダイヤ改正をしないこととしたようなので、北部ふれあい号のダイヤ改正もしないこととしたい。
2点目は、今年6月の1箇月間、上新城コース下りの「組合病院前」、「飯島水尻」、「ふじ保育所前」の3停留所について、予約なしで運行してみて利用者動向のデータを取りたい。
3点目は金足西小学校の児童を対象とした乗車券を発行したい。
以上の3点の提案である。
- 委員 乗車券発行はいつから実施できるのか、また、その他一般者向けの乗車券は発行しないのか。
- 事務局 乗車券の発行の可否については、秋田市地域公共交通協議会バス路線再生分科会で議論されることになっている。
会の開催に関しては、南部方面路線の代替交通運行について、5月に開催を予定しているため、北部線の乗車券の件もその会議に諮って承認された後、運行事業者が国土交通省へ申請し、認可までの期間が約2箇月かかることになるので、認可は7～8月となる予定である。
販売方法等の詳細は、市と運行事業者と金足西小学校の3者で検討したい。
また、一般利用者はゆうゆう券など別に利用可能な乗車券があるため、あまりニーズがなさそうである。
小児用の乗車券3種類の認可を取っておきたいと考えている。
- 委員 了解した。最後に、金足浦山町内にある愛心苑の通所者対策として、愛心苑前着9:00～9:20頃になるような金足コースの下り始発便を設置してほしい。
- 会長 事務局で検討してほしい。
- 事務局 検討する。
- 会長 事務局から提案のあった3点は承認してもよろしいか。
- 委員一同 承認する
- 委員 前回お願いしていた岩城地区で上新城コースを利用する件はどうなったのか。
- 事務局 他の町内と整合性がとれるようこの会で決定してほしい。
- 会長 それでは、岩城町内を通る県道の沿線にあるコンビニ前で1箇所で取り扱いすることとしてよろしいか。
- 委員一同 承認する
- 事務局 その具体的な段取りは、市と運行事業者で協議させてほしい。
- 会長 了解した
他にないなら、これで議事を終了する。

- 議事終了 -